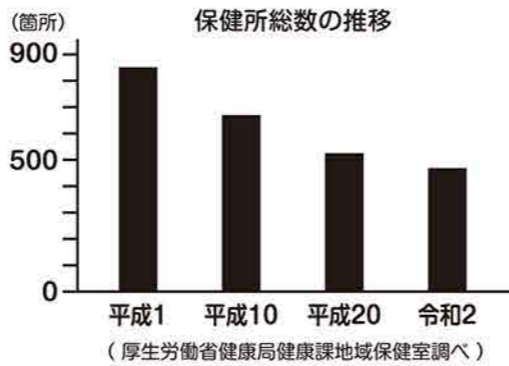


GoTo「社会保障制度」の充実を!

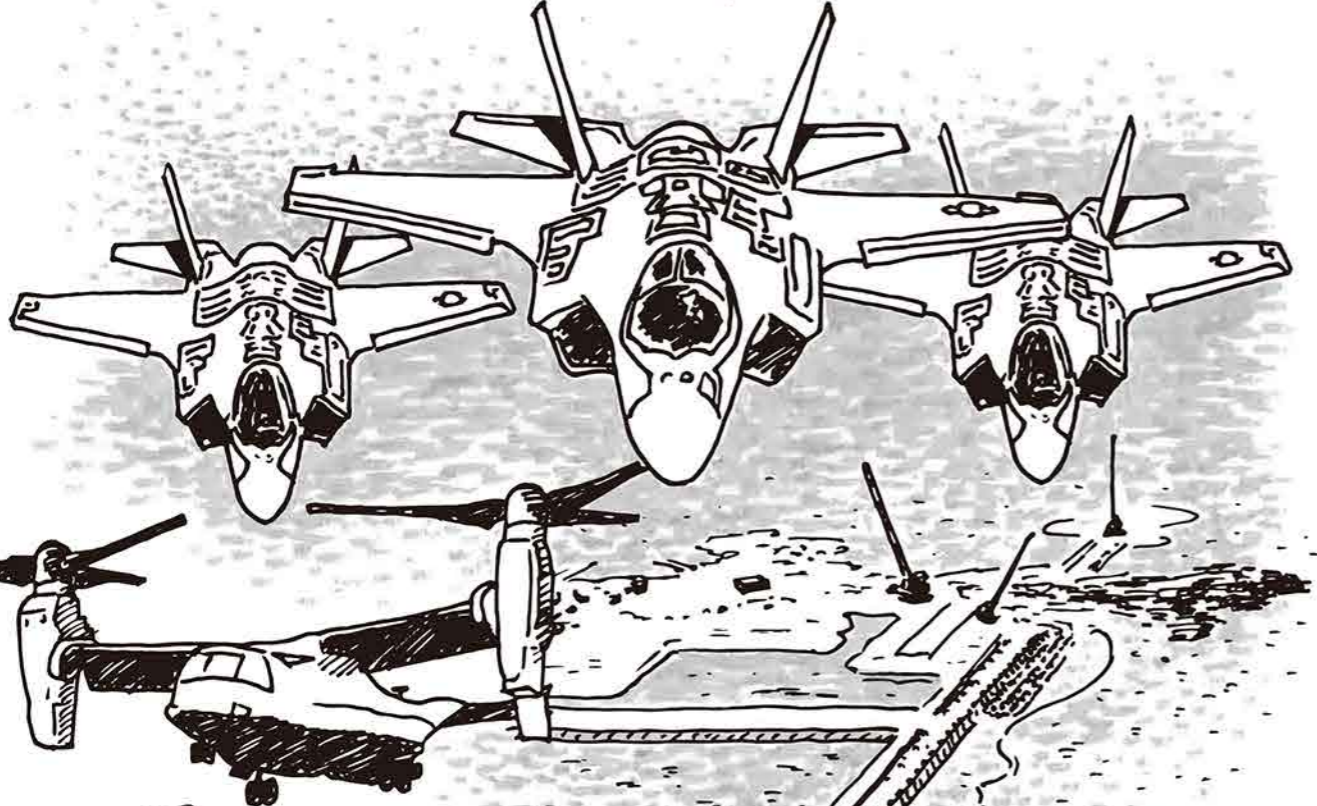
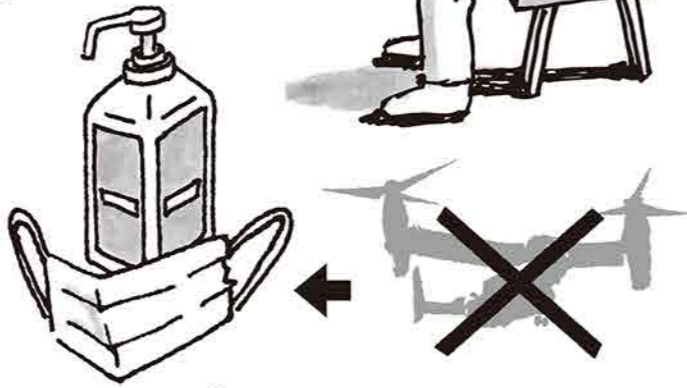
新型コロナウイルス感染拡大によって医療体制の脆弱さが明らかになった日本。感染対策の要のほすの保健所はこの30年で半数ほどに減らされ、医療従事者の人員・物資不足はさらに深刻で、マスクですら「1日1枚あればいい」という状況です。



「今日のごはん、どうしよう…」
「住む家もなければ、ネットカフェにも泊まらない。」
その一方でGoToキャンペーンを楽しむ人たち。本当に困っている人たちに支援が届いていません。



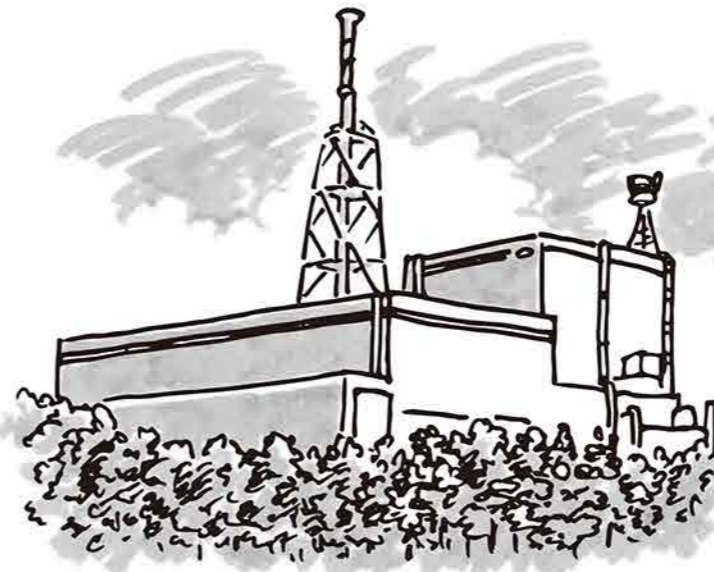
「病気になったら病院で診てもらえる」「8時間働けば当たり前のご飯が食べられる」「誰かと暖かいごはんが食べられる」だれもが望む普通の生活です。今まで縮小してきた社会保障制度を元に戻すだけで、多くの人たちの命と生活が救えるのです。



平和な世界に生きたい!

政府は巨額の予算を軍事費に費やしています。F35戦闘機105機購入に1兆3,000億円、オスプレイ17機購入に3,600億円もの税金が使われます。自衛隊が「敵基地攻撃能力」を持つことは、戦争を仕掛けることであり、憲法9条違反です。また、沖縄県民は何度もNO!の意思を示したにもかかわらず、辺野古の基地建設はどんどん進められています。私たちの平和に暮らす権利はますます脅かされています。一方で来年1月に「核兵器禁止条約」が発効します。唯一の戦争被爆国である日本が今すべきことは、条約を批准し「核のない世界」に貢献することではないでしょうか。

あなたの大切なものを、守られていますか?



かけがえのない「日常」こそ

東海村の東海第二原発は、東日本大震災によりあわや福島原発と同じ事故になりかけた期限切れの老朽原発。本来は廃炉になるはずが、国や日本原電は20年も延長し再稼働させようとしています。



今年、県民の意思表示の場をつくるため、市民グループが県民投票を求め県へ直接請求しました。しかし、県議会で自民党派などが私たちの民意を表す手段を否決しました。

事故はいつでも「想定外」で起こります。「実効性のある避難計画」をつくるのは不可能です。たとえ避難できて帰ることができません。SDGs〜持続可能な社会に原発はいりません。私たちの何気ない「日常」は原発事故で取り返しのつかないものになります。30km圏内だけでも94万人もの人たちが生活しています。この茨城に安心して住み続けるためにも、東海第二原発の再稼働は許されません。

かつて桜並木の美しい福島の街は今、野生動物の影だけが映る。再び人の営みが戻るのはいつの日か。



「民主主義」の瀬戸際ですよ!!

菅義偉首相は、日本学術会議会員6名の任命を拒否しながら、その理由を説明していません。民主主義の基本は説明責任です。菅首相は、学術会議の人事に介入し、政府に批判的な人物を排除しようとしています。学問の自由は、研究の自由と発表、学会の自立など、私たちの知る権利の土台です。この土台を壊されると、政府は思想・信条の自由までコントロール下におこうとするでしょう。民主主義は形ばかりになり、骨抜きにされる危険があります。6名が任命されるまで声を上げつづけてください!

